

## サポートセンターの運営形態が変わります！

### — 委託事業から協働事業へ —



2006年度から、サポートセンターの運営が「委託」から「協働」へと移行します。施設運営が委託方式でなくなるのは、市内では初の試みです。今までは、サポートセンター運営は委託事業ですから、「行政のやることを受託団体が代わってやる」というのが前提でした。

そこで、運営経費は行政に全額拠出して貰う反面、行政の指示が絶対（実際はそうでもありませんが）というイメージが先行します。これに対して、協働事業へと移行したので、受託団体である我々も資金の拠出が求められますが、事業の内容については、互いに話し合い協定を結ぶ中で実施されていくことになります。

では、具体的にどこが変わるのでしょうか？実際は、委託とか協働事業と言っても、それは理念的なもので、現場の運営はあまり変わらないと思います。大きく変わるのは、市民会議がサポートセンターで、収益事業をすることが可能になったという点です。例えば、コピー収入は市民会議の収入となります。また、サポートセンターのHPにバナー広告を入れて市民会議の収益とすることが可能になりました。また、さぼせんナウにも企業広告を入れて収益にすることができます。さらには、物品やチケット販売をして手数料収入を得る事も可能になります。

我々のアイデアでサポートセンターで収益事業をして、運営経費にあてることが可能となったわけです。是非、皆様の多様なアイデアをお寄せ下さい。（さがみはら市民会議代表理事 伊藤信吾）

## 新しい仕組みで サポセンこの1年

今年度、サポートセンターに事務局長を新たに設置し全ての業務について統括することになりました。今まで市民会議で企画、運営していたさぼせんナウの発行や市民活動活性化講座は、スタッフ業務に移行し、サポセンの組織づくりが重要となり、広報、イベント、相談、研修、PCの4つの班を編成し、従来の係（掲示物、図書、助成金、消耗品）と合わせ、それぞれの業務内容を確認してスタ



ートしました。解らない事も多く業務を遂行するためには勤務時間を超え会議を開かざるをえませんでした。班全員が集まるために班長は大変苦労していました。反面自分たちの手で取り組めることに意欲とやりがいを感じていたようです。市民活動活性化講座では特に広報活動に力を注ぎ大きな成果があり、色々議論を交わしたさぼせんナウの発行、ホームページの見直し、研修への意欲的参加、また工夫を凝らした掲示物係活動、図書コーナーの充実化等、スタッフの前向きな姿勢が見られたことは評価してよいと思っています。しかし、まだまだ多くの課題を抱えているのが現状です。今後、中間支援としての役割を果たすには市民活動に対し何をどのようにアプローチしていくのかを具現化する必要があります。スタッフ間で議論し方向性を見つけるだけでなく市民会議と連携し、日常の業務に反映させなければなりません。今後の見通しを持ちつつ明確な目標を共有し、来年度取り組めるよう努力していきます。

（サポートセンター事務局長 関口良三）

## 新入会員紹介

このところ、当会には続々新人会員が誕生しています。特に12月の会の定例会でのゲストの方々で合計10人もの入会がありました。では、その中から、何人かの人に自己紹介をお願いします。

### 良い答えをみつけない

井口 学 さん



昨年は相模原青年会議所の理事長を務め、皆さんにはさまざまな場面でお世話になりました。今年でその青年会議所の活動も終わることから、今度は皆さんの活動に参加させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

28歳のときに司法書士となり、今年で12年目を迎えました（もう40歳になりました）。ここ数年は市民型紛争の仕事が多くなり、青年会議所卒業後は職業を通じた地域貢献活動のあり方を考え、少しずつでも何かしらの行動をしていきたいと思っています。

40にして惑わずと言われますが、まだまだ悩みながら色々と考えていきたいと思っています。皆さんの活動に触れることで、良い答えを見つけていきたいと思っています。

どうぞ期待！ 新入会員は  
がんばるよ！！



## 生まれ育った相模原で

清水 利成 さん

私は、現在32歳になります。市民団体やNPOなどに興味があり、このさがみはら市民会議にも参加させて頂きました。現在、私は

座間青年会議所、相模原市消防団に所属しており、日夜活動に精を出しております。それとは別に、体を動かすことが好きな僕は、オンシーズンになると毎週のように草野球で白球を追いかけています。私と野球の付き合いは25年にもなり、ちなみにチームでは4番ファーストです。

また現在、小さな子供達が事件に巻き込まれるという、とても悲しい事件が相次いでいます。これを私は何とかしたいです。私は、生まれも育ちも相模原で、とてもこの街には親しみを感じていて、次の世代にこの街の良さを伝えてゆきたいと考えています。

## ギターを弾きながら

谷口悠子さん

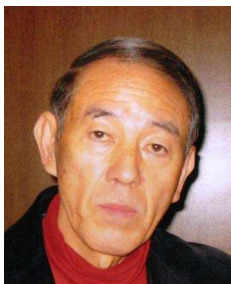
新しく市民会議の会員になりました谷口悠子です。現在、サポートセンターのスタッフとして活動しています。また福祉施設でのボランティアを中心に、様々な方と交流しています。



(左)ギター友達 (右)私

まだまだ勉強不足ですが、皆さんと一緒に活動し、多くの事を吸収していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

数年前にギターを購入、1年前から友達とこっそり練習中です。いつかお披露目できたら良いな・なんて思っています。



## これからも貪欲に

藤田繁幸さん

仕事人間の私が地域に関心を持ち市民活動に参加し始めたのは妻の一言でした。「今のままで会社を退職した後は淋しい人生が待っているだけよ。もっと地域の活動に参加したら」と言われ、自治会活動から始め自治会長もやり、一緒に公民館活動と、平成14年から、市民さくらまつり検討委員会の委員長を引き受け、参加者と一緒に来場した市民に喜んでもらえる「さく

らまつり」にしようと頑張っており、昨年から「パートナーシップ委員会」で市民と行政と一緒に事業を考える仕組み作りを今やっており、又、年末から「さがみはら市民会議」にも参加致しました。

仕事人間から10年市民活動に参加し、大勢の人達と出逢え、下り坂の人生と思っていた、今は逆に、又、昇り始めたかな?と思う程充実した人生を楽しんでいます。

これからも元気で大勢の皆さんと楽しく活動出来るように体力づくりの為、趣味で、ゴルフ、テニス、スキー、ソフトボール、阿波踊りと貪欲に色々なものに挑戦して、これからも頑張っていきたいと思っておりますので宜敷く、お願いいたします。



## 教育フロンティア

窪田 光位 さん

私の住んでいる所は座間市相武台で、そこに生まれてから30年以上住んでいます。

3年近く前から、相模原市内で不登校や発達障害などの子どもたちの支援をする「四谷フリースクール」というところで活動していました。今後は相模原市を中心として、もっと発展的に地域の教育活動に取り組みたいという思いがあったので、今年の3月で今の活動場所を離れ、4月からは新たに自分で立ち上げた「NPO法人教育フロンティア」という団体の代表者として、相模大野を拠点に活動することになっています。活動内容は今までと同じですが、今まで以上に地域の方々に協力してもらいながら活動するつもりです。

自分の活動を通じて、行政機関や他団体、市民とのパートナーシップの重要性を常に感じていたことから、今年4月に設立する「パートナーシップ市民フォーラムさがみはら」という組織の準備会に昨年から関わっていました。この組織は、行政との協働事業の仕組みや、パートナーシップに関する条例を市民側から相模原市長に提案していくことを目的とした、市民の自主的な組織です。ただ、一般的な市民活動団体と違って、市長と「パートナーシップ協定」という協定を交わすことで、提案の内容も市長に尊重してもらえることが大きな特徴です。入会は16才以上の方で、相模原市に在住・在勤・在学・在活動している方なら誰でもできるので、関心のある方はぜひ入会してください。申込み先は準備会の事務局になっている、市役所パートナーシップ推進課になっています。

[あなたの疑問にお答えします。よ〜くわかるNPO講座](#)

3月18日13:30~16:00 申し込みはサポセンまで

けやき会館2F職員研修所

実際言ってNPO法人ってどうやって作るの? 細かいことが大切なんだよね。何でNPO法人なの……すべてお答えします。よ〜くわかります。是非どうぞ!!